



『第41回登別温泉湯まつり』のメインイベント『源泉湯かけ合戦』が行われる2月4日(土)。古本さんが仕事を終え、集合場所の登別観光協会に到着したのは、時計の針が午後7時を回ったころだった。

古本さんは辰年生まれの36歳。

今回の『源泉湯かけ合戦』で、年男と年女だけに許される騎手の大役を務める。

あいさつをすると、古本さんは人好きのする笑顔を見せてくれた。用意された豚汁とおにぎりで腹を満たした参加者たちが、続々と

着替えに移動する中、早速話を聞く。

『源泉湯かけ合戦』への参加は、今年で4回目。騎手になったのは、「登別商工会議所青年部の仲間がこのまつりに関わっていて、彼らの勧めがあったから」。

古本さんはそう言い遠慮がちにほほ笑むが、その瞳の奥からは隠しきれない闘志がみなぎっている。最後に今日の意気込みを尋ねると、古本さんはその闘志を押しやるように「がんばります」と言い残し、仲間の輪に入っていった。

午後7時30分 第一滝本館社宅浴場

食事を済ませた古本さんは会場近くの第一滝本館社宅浴場へ移動。そこではすでに下帯姿に着替えた多くの参加者が、迫りくる戦いのときに備えている。

古本さんも、長年参加者の着替えを手伝うベテランスタッフの手を借りて、下帯姿の戦士へと変貌を遂げた。

がっしりとした体からは、この厳しい現代社会を戦い抜いてきたという

自信と、風格が漂う。ベテランスタッフも、たった今誕生した戦士の迫力あるたたくまいに、満足げな笑みを浮かべた。

